

2022年度 デイサービスひろば 事業所における自己評価結果(児童発達支援)

公表 2023年3月3日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標 |
|----------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切である | ○ | | | |
| | ② | 職員配置数は適切である | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要だと思う時は声を掛け合っている ・利用人数が増えている。休みか年休が重なると支援に入る職員数が厳しい | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備などは、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションを使い安定した状況の中で主体的に活動できるよう環境を調整している ・パーテーションを使い環境を整備している | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に活動の終わりに拭き取り作業を行っている ・午前午後活動終了後に消毒を行っている換気も十分にできている ・毎日清掃消毒を行っている | |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援の当日の担当者が個別支援計画をもとに支援記録共有し支援へつなげている ・スタッフと共有するよう心がけている。しかし明確化されていないと思う ・適宜行っている状況である ・スタッフで共有するようにしている | <ul style="list-style-type: none"> ・支援につなげる記録の書き方を確認していく ・個別支援計画をチームで作成するシステムを構築する |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげている | ○ | | | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・月に一度のオンライン研修に参加している ・オンライン研修を定期的実施している ・オンライン研修会の参加を実施 | |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援 | ○ | | | |

| | | | | | |
|----------|--|---|--|---|-----------------------|
| | に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | | | | |
| ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・長期目標短期目標を確認してから支援を行っている ・活動に入る前に個人のファイルを見て支援計画を確認している ・事前に支援計画を確認しそれに沿った活動ができるよう確認している ・支援に入る際には目標を確認してから支援に入る | |
| ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・相談しながら行っている ・スタッフ間で相談して行っている | |
| ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールが固定されないようスタッフが調整している ・児童発達支援のスケジュール作成担当者を一定期間で運転を交代しながらプログラムが固定されないように工夫している ・前回の活動の記録を見て変更している ・順番に交代しながら組んだり、前回の記録を見たりしながら組んでいる ・スケジュールが同じにならないように調整している | |
| ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | | |
| ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている ・支援前には個別支援計画を確認し当日の支援の内容を考えている ・前回の様子を元に話し合いをしている | |
| ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・記録と必要であれば口頭で共有する ・支援後、活動中の様子や気づきをスタッフ間で共有している ・気づきや様子を話し合っている | |
| ⑲ | 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・長期目標短期目標に対しどういった取り組みを行ったかを記録している ・活動中の保護者との話や様子を記録している ・保護者との会話、活動内での気になった様子など記録に残している | ・支援につなげる記録の書き方を確認していく |
| ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | |
| 関係機 ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | |

| | | | | | | |
|---|---|--|---|---|--|--|
| 関 や 保 護 者 と の 連 携 | ⑳ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて臨床心理士に相談し助言を得て支援を行っている ・関係機関と直接連携を図ることは少ない。情報の共有は相談支援専門員を通じて行なっている | |
| | ㉑ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもなども支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・対象の児童がいない | |
| | ㉒ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・対象の児童がいない | |
| | ㉓ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行なっている ・必要に応じて園での様子の聞き取りを行っている ・支援内容による評価等は保護者から以降場所へ伝えられるよう書面で確認している | |
| | ㉔ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行なっている ・移行時は直接情報を共有する機会を設けていない保護者を通じて状況と伝えられるようにしている | |
| | ㉕ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症の専門家臨床心理士に助言をもらい支援につなげている ・臨床心理士や自閉症の専門家に定期的に支援の様子を見て頂き助言を受けている ・支援事業所とは現状や課題について話をする機会がある。個人的に他機関との関係作りをしていきたい | |
| | ㉖ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | | |
| | ㉗ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等は積極的に参加している | ○ | | | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・普段の活動中に児童の状況などを保護者と情報を共有したり連絡帳アプリを使い活動内容やご家庭の様子を共有している ・連絡帳アプリを使ったやり取りや送迎の際に情報の共有を行っている ・活動する中で課題であるところと都度確認したりしている ・連絡帳アプリを使ったやり取りをしている。活動中、話を聞くよう努めている | |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点か | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は一家庭を | |

| | | | | | | |
|------------|---|--|---|---|---|--|
| | | ら、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | | <ul style="list-style-type: none"> 対象としセッションを行っている 希望の保護者には児童発達支援管理責任者が個別にてアレントトレーニングを実施している 必要だと思われる方には活動している 活動の中で関わり方を伝えている 日々の療育活動中にペアレントトレーニングの観点で子どもとの接し方についてはアドバイスができています | |
| 保護者への説明責任等 | ⑳ | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | |
| | ㉑ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | |
| | ㉒ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> 相談等あればスタッフ間で話し合ったり場合によってはスーパーバイザーに相談し助言をもらっている 活動中に話があった場合その都度話し合っているスタッフと対応を検討する | |
| | ㉓ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> コロナ感染予防のため今はできていない | |
| | ㉔ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> 相談があればその都度スタッフ間で情報共有しケースによってスーパーバイザーに助言をもらっている | |
| | ㉕ | 定期的に会報等と発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | |
| | ㉖ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> 注意していたが他の人のメールアドレスが開示されてしまった。対応の仕方を全員で確認。電子メールから連絡帳アプリへ切り替えた 書類の保管場所には施錠対応している | |
| | ㉗ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> 保護者に説明する際に必要があれば図解式で視覚でも確認できるように話している | |
| | ㉘ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | |
| 非常時等の対応 | ㉙ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> 定期的に訓練を実施している 今年度は全職員が訓練実施の立案を担当することで意識付けや問題点のきづきに繋がるよう計画し実施した。非常時のマニュアルをもとにし | |

| | | | | | |
|----|---|---|---|---------------------------------------|--|
| | | | | ていざという時とるべき行動が一目でわかるよう簡潔にまとめたものがあるといい | |
| ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | |
| ④③ | 事前に、服薬や予防接種でんかん発作等の子どもの状況を確認している | ○ | | | |
| ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされている | | ○ | ・対象児童がいない ・医師ではなく保護者からの情報で対応している | |
| ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | |
| ④⑥ | 虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適正な対応をしている | ○ | | ・年に1度外部講師を招き権利擁護研修を行っている | |
| ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | ・現時点では対象の児童がいない | |